



各 教育事務所長  
市町村教育長 殿  
学校長  
関係機関・団体所属長

主催／宮崎県数学教育会  
共催／都城市教育委員会  
三股町教育委員会  
南部教育事務所  
後援／宮崎県教育委員会  
宮崎縣市町村教育委員会連合会  
公益社団法人日本数学教育学会  
公益社団法人九州数学教育会

第73回宮崎県数学教育会  
算数・数学教育研究都城・三股大会について（案内）

新緑の候 各位にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
さて、宮崎県数学教育会は、本県数学教育振興に鋭意努力してまいりましたが、本年度は都城・三股地区において、第73回宮崎県数学教育会算数・数学教育研究大会を下記の要領で開催いたします。今回は、小学校・中学校・高等学校の公開授業を対面または録画で実施し、他学校の先生方とも意見交換を可能にするなど、なお一層の連携の強化を図ることができる研究会を目指しております。  
つきましては、教育委員会、学校長各位におかれまして、当会の趣旨をご理解の上、関係職員の多数の参加ができますよう格別のご配慮をお願いいたします。

宮崎数学教育会会長 添田 佳伸  
都城・三股大会実行委員長 松下 将大

記

- 1 期 日 令和 6年 6月28日（金）
- 2 会 場 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校・都城市立志和池小学校
- 3 研究主題 大会主題「これからの未来を切り開く算数・数学教育」  
小学校「学びに向かう力」と「思考力・判断力・表現力」を育む算数科授業の創造Ⅱ  
～「深い学び」を表現する効果的な「対話」活動の組織～  
中学校「数学的活動を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する数学教育」  
高等学校「数学的な見方・考え方と生徒の主体的に考える態度を一体的に育む数学教育」

4 日程及び会場

時 間	内 容	場 所	備 考
8：40～ 9：10	受 付	宮崎県立 都城泉ヶ丘 高等学校	※県数テスト 紙面発表
9：20～10：30	全体会 銀いさの 講演		演題「ICTを活用した教育DXの展望」 講師 文部科学省学校DX戦略アドバイザー 宮崎大学教育学部 小林 博典
10：40～12：15	分科会		小学校3会場、中学校3会場、高等学校1会場
12：15～14：00	昼食・休憩・移動	小学校のみ都城市立志和池小学校へ移動	
小 14：00～14：45 中高 14：00～14：50	公開授業	【中学校・高等学校】 宮崎県立 都城泉ヶ丘 高等学校	小学校3会場、中学校3会場、高等学校2会場
小 15：00～15：40 中高 15：05～15：45	授業研究	【小学校】 都城市立志和池 小学校	小学校3会場、中学校3会場、高等学校2会場
小 15：40～15：45 中高 15：45～15：50	閉会行事	都城市立志和池 小学校	各授業研究会場

5 各分科会の公開授業・分科会等

<小学校部会>

●公開授業（14：00～14：45）

分科会	学 校 名	授 業 者	学年	題 材
第1	都城市立志和池小学校	黒岩 光貴	2年	見方・考え方をふかめよう(1)
第2	三股町立三股西小学校	安藤 夏奈	5年	小数のわり算
第3	都城市立南小学校	大田 晋也	6年	データの整理と活用

●授業研究

分科会	司 会 者	記 録 者	指 導 助 言 者
第1	都城市立明道小学校 関 裕章	都城市立祝吉小学校 大崎 美穂	添田 佳伸（宮崎大学教育学部教授）
			前田 雅樹（南部教育事務所教育推進課指導主事）
第2	都城市立安久小学校 日高 茂	都城市立石山小学校 穂積 宏幸	木根 主税（宮崎大学大学院教育学研究科教授）
			上西憲太郎（北部教育事務所教育推進課指導主事）
第3	都城市立沖水小学校 若松 宏一	都城市立上長飯小学校 守田 直子	渡邊 耕二（宮崎国際大学教育学部教授）
			石川 浪子（教育研修センター教育支援課指導主事）

●分科会（研究発表）

分科会	領 域	学 校 名	発 表 者	発 表 題 目
第1	教育課程	小林市立 東方小学校	池脇 志保	『算数科において数学的な見方・考え方を養うための環境づくり』～第2学年「図形」の指導を通して～
	学習指導法 と評価	延岡市立 北浦小学校	武内 研人	主体的に考え、伝え合うことのできる児童の育成～協働的な学びのある算数科授業と双方向のフィードバックを通して～
第2	数と計算	宮崎市立 江平小学校	桑原 麻里	『思考をともなった立式のための算数科学習指導の在り方』～数と計算領域の指導を通して～
	図形	串間市立 福島小学校	本田 晃熙	学級「みんな」が分かる・できる算数科図形領域の指導～特別支援教育の視点を取り入れた授業改善を通して～
第3	測定 変化と関係	川南町立 東小学校	松原 葉子	『自信をもって表現できる児童を育成する算数科授業のあり方』～説明する力を高めるための手立てを通して～
	問題解決	日之影町立 宮水小学校	高山 輝也	『算数科の学習において、思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方』～協働的な問題解決学習を通して～

●司会者・記録者・指導助言者（研究発表）

分科会	司 会 者	記 録 者	指 導 助 言 者
第1	都城市立明道小学校 関 裕章	都城市立大王小学校 堂園 理沙	添田 佳伸（宮崎大学教育学部教授）
			前田 雅樹（南部教育事務所教育推進課指導主事）
第2	都城市立安久小学校 日高 茂	都城市立夏尾小学校 下畑 初美	木根 主税（宮崎大学大学院教育学研究科教授）
			上西憲太郎（北部教育事務所教育推進課指導主事）
第3	都城市立沖水小学校 若松 宏一	都城市立川東小学校 谷口 隼人	渡邊 耕二（宮崎国際大学教育学部教授）
			石川 浪子（教育研修センター教育支援課指導主事）

<小学校部会・中学校部会>

●県数テスト分析（紙面で公表）

	発 表 者	学 校 名
第1学年 県数テスト分析	泊 貴弘	小林市立小林中学校
第2学年 県数テスト分析	斧 優志	高鍋町立高鍋西中学校
第3学年 県数テスト分析	古賀 恵	宮崎市立赤江中学校

<中学校部会>

●公開授業（14：00～14：50）

分科会	学 校 名	授 業 者	学 年	題 材
第1	三股町立三股中学校	牧野 将太	1年	文字の式
第2	都城市立小松原中学校	松川 雄飛	1年	正の数・負の数
第3	都城市立妻ヶ丘中学校	森 瑞樹	2年	図形の調べ方

●分科会（研究発表）

分科会	領 域	学 校 名	発 表 者	発 表 題 目
第1	教育課程	日南市立 飫肥中学校	河野 亜希	表現力を育む授業づくりについて ～生徒の実態に応じた少人数指導を通して～
	学習指導法 と評価	日向市立 大王谷学園中等部	石井 奨悟	『主体的な態度を育てる学習指導法』 ～自ら選択して取り組む学習スタイルを通して～
第2	数と式	宮崎市立 宮崎北中学校	細元 孝太	『誰一人置き去りにしない 数学の授業を目指して』 ～主体的・対話的で深い学びの実践 数と式編～
	関数	宮崎市立 本郷中学校	永瀬 新一	『関数領域における学習指導の工夫』 ～少人数指導を生かし、対話的な活動を取り入れた授業の確立を通して～
第3	データの活用	日之影町立 日之影中学校	中村 亮介	『思考したこと、判断したことが論理的に説明できる生徒の育成を目指して』～「データの活用」の単元での授業展開の工夫～
	数学的な考え方	川南町立 唐瀬原中学校	入江 貴博	「数学的な考え方」を育むための個別最適化された授業構成について～生徒個々が考え方を追求する授業をめざして～

●司会者・記録者・指導助言者（授業研究・分科会）

分科会	司 会 者	記 録 者	指 導 助 言 者
第1	都城市立庄内中学校 長友 克憲	三股町立三股中学校 児玉 大典	藤井 良宜（宮崎大学教育学部教授）
			日高憲一郎（中部教育事務所教育推進課指導主事）
第2	都城市立姫城中学校 黒木 秀一	都城市立高崎中学校 野崎 隆博	向江 頼士（宮崎大学教育学部准教授）
			加祥耕之輔（南部教育事務所教育推進課指導主事）
第3	都城市立山田中学校 高岡 伸吾	都城市立沖水中学校 長谷川純一	山口 尚哉（宮崎大学教育学部講師）
			矢野 秀平（教育研修センター学習研修課指導主事）

<高等学校部会>

●公開授業（14：00～14：50）

分科会	学 校 名	授 業 者	学 年	題 材
第1	宮崎県立高城高等学校	矢上 幸宏	3年	ベクトル
第2	都城東高等学校	田村 旭	3年	順列

●授業研究（司会者・記録者・指導助言者）

分科会	司 会 者	記 録 者	指 導 助 言 者
第1	宮崎県立都城西高等学校 横上 聖司	都城聖ドミニコ学園高等学校 福森 洋市	平山 浩之（宮崎大学教育学部准教授）
			柳田 大介（宮崎県教育庁高校教育課高校教育・学力向上第一担当指導主事）
第2	宮崎県立都城農業高等学校 武田 親治	都城聖ドミニコ学園高等学校 岩崎辰太郎	押方 修（宮崎学園中学校・高等学校長）
			後藤 華（宮崎県教育庁高校教育課高校教育・学力向上第二担当指導主事）

●分科会（研究発表）

分科会	領 域	学 校 名	発 表 者	発 表 題 目
第1	学習指導法と 評価	日章学園高等学校	吉村 祐	タブレット端末を活用した探究授業の実践
	学習指導法と 評価	宮崎県立 延岡星雲高等学校	高佐 和希	『数学で試行錯誤するために』～「初めの一行」を 書くための方策とそれに伴う教材研究について～
	大学入試 自由研究	宮崎県立 五ヶ瀬中等教育学校	山本 大輔	『ICTを活用した専門系高校の大学入試対策』 ～G o o g l e フォームを活用した数学演習～

●分科会（司会者・記録者・指導助言者）

分科会	司 会 者	記 録 者	指 導 助 言 者
第1	宮崎県立都城工業高等学校 轟木 秀一	宮崎県立都城商業高等学校 金丸 乃聖	平山 浩之（宮崎大学教育学部准教授）
			押方 修（宮崎学園中学校・高等学校長）

## 7 全体講演について

本年度は、文部科学省学校DX戦略アドバイザー・宮崎大学教育学部の小林 博典 先生に講演をしていただくことになりました。とても貴重な機会ですので、ぜひ多くの先生方に参加していただき、今後の教育活動に活かしていただければ幸いです。

### ○ 演題

『ICTを活用した教育DXの展望』

### ○ プロフィール

小林 博典 博士（教育学）。文部科学省学校DX戦略アドバイザー。宮崎大学教育学部准教授。

東京学芸大学卒業後、1989年宮崎県中学校教諭採用、その後、県教育庁東臼杵教育事務所指導主事、宮崎大学教職大学院准教授（実務家教員）、県教育庁総務課指導主事、県教育研修センター情報担当副主幹、県教育庁教職員課人事担当副主幹、小学校校長を経て、2019年宮崎大学入職。専門は教育工学、学習支援システム、教師教育、プログラミング教育などです。現在、大学で教鞭を執る傍ら、宮崎市教育委員をはじめ、宮崎市「新しい研修制度の在り方検討委員会」委員長、宮崎県「教育の情報化推進プラン」改訂委員会座長、宮崎県「新時代に対応した高校授業改革推進事業」アドバイザーなどを務められ、地域貢献に邁進されています。

## 8 その他

(1) 小学校・中学校・高等学校の公開授業を対面または録画で実施いたします。ぜひ他学校の先生方と意見交換し、一層の連携を図るようお願いいたします。

(2) 中学校部会の県数テスト分析発表は、紙面での発表になります。

(3) 受付・駐車場について

○ 受付は、宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校義友会館前玄関で行います。

○ 駐車場は、誘導に従い各駐車場にお進みください。

- ・ 来賓…宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校職員駐車場・都城市立志和池小学校職員駐車場
- ・ 役員…宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校グラウンド駐車場・都城市立志和池小学校運動場
- ・ その他の参加者…宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校グラウンド駐車場へ駐車をお願いします。
- ・ 小学校部会は、都城市立志和池小学校運動場、または志和池地区公民館へ駐車をお願いします。

(4) 分科会申し込みと弁当注文については、別紙の二次元コードを読み取るかURLを入力してGoogleフォームにてご回答ください。回答期限は令和6年6月19日（水）までです。

(5) 大会事務局は次のとおりです。

- |          |               |                  |       |
|----------|---------------|------------------|-------|
| ・ 小学校部会  | 都城市立志和池小学校    | TEL 0986-36-0515 | 河村 康秀 |
| ・ 中学校部会  | 三股町立三股中学校     | TEL 0986-52-1144 | 黒木 慶太 |
| ・ 高等学校部会 | 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校 | TEL 0986-23-0223 | 久保田悦郎 |

(6) 会場周辺図及び駐車場配置図

<会場地区図>

会場連絡先：宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校

TEL 0986-23-0223

会場所在地：宮崎県都城市妻ヶ丘町27街区15号

会場連絡先：宮崎県都城市立志和池小学校

TEL 0986-36-0515

会場所在地：宮崎県都城市上水流1666番地

